



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月6日

上場会社名 株式会社シグマクス 上場取引所 東
 コード番号 6088 URL <http://www.sigmaxyz.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 倉重 英樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 田端 信也 TEL 03(6430)3400
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業損失		経常損失		四半期純損失	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,030	—	△319	—	△312	—	△523	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △523百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純損失	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△26.40	—
26年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成27年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第3四半期の数値及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 平成27年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	5,205	3,596	69.1	181.08
26年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,596百万円 26年3月期 一百万円

(注) 当社は、平成27年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期の数値を記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,950	—	0	—	0	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 当社は、平成27年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率を記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	19,860,400株	26年3月期	19,800,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	0株	26年3月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	19,815,537株	26年3月期3Q	18,043,108株

(注) 当社は、平成25年8月16日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。また、平成26年4月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調が見られたものの、円安による物価上昇懸念等、先行き不透明な状況が続いております。このような経済環境に加え、グローバル化、デジタル化、サービス化の進展が継続しており、それらへの対応が日本企業にとって急務となっております。シグマクスは「戦略実現のシェルパ」として、お客様の戦略立案からビジネスモデル策定、ビジネスプロセス設計、事業運営体制及びITシステムの構築までを支援し、目指す成果を実現するまでをワン・ストップサービスとして提供するべく取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の収益面に関しては、第1四半期及び第2四半期における経常損失から、第3四半期において売上高が回復したこと、並びに、コストマネジメントを徹底した結果、四半期ベースで経常利益に転換いたしました。一方で、繰延税金資産の減少により法人税等調整額を計上したことに伴い、四半期純損失となりました。

また、同期間での新たな取り組みとしては、本年5月にシンガポールに現地法人(SIGMAXYZ Singapore Pte. Ltd.)を設立し、日本企業への現地支援体制を強化いたしました。10月には投資助言・代理業を手掛けるT-Model インベストメント株式会社の株式を取得、人員増強のうえ株式会社SXAに社名変更し、M&A支援事業を強化いたしました。また同月、ホテル、レストラン、バンケット(宴会)、ブライダル等の企画・運営・コンサルティングや、インテリア及び店舗設計を行う株式会社Plan・Do・See(以下、PDS社)のシステム子会社である株式会社Plan Do See Systemに資本参加し、PDS社との連携を強化しております。

加えて、市場の変化に対応してクラウドサービスを活用するアプローチへの転換も継続しており、5つのオフアリング(*)のうち、「Global Supply Chain Planning」については、本年6月にグローバル・サプライチェーン・マネジメントの仕組みをクラウドで提供する米国のOne Network Enterprises Inc.と戦略的パートナーシップ契約を締結いたしました。既に完成している「Business Management 3.0」とあわせて、営業活動を展開しております。また、「Global Human Capital Management」については、「Heuristic Work Environment」と統合し、人材及び組織の活性化を支援するオフアリングとして開発を完了し、営業活動を開始しております。「Real Digital Store Management」については、年度内の完了に向けて開発中であります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,030百万円、営業損失△319百万円、経常損失△312百万円、四半期純損失△523百万円となりました。

(*)

	オフアリング名	概要
1	Global Supply Chain Planning (グローバル・サプライチェーン・プランニング)	クラウド型サプライチェーン・プランニング。共通のプラットフォームを、複数企業が利用することで、企業間の計画情報共有リードタイムをゼロにすると同時に、各社の販売管理、在庫管理、購買機能と連動することで、流通在庫を含めた削減及び販売機会ロスの低減を実現する。
2	Business Management 3.0 (ビジネスマネジメント3.0)	市場変化に即応するグローバル経営管理に必要な各種経営情報を、リアルタイムに提供する未来予測型の経営管理システム。さらにモバイル環境でのビューアー機能を提供することで、手計算やメールでの情報共有の手間をゼロにすると同時に、ペーパーレスマネジメントを実現する。
3	Heuristic Work Environment (ヒューリスティック環境構築)	社員の創造性と組織のイノベーション力を高めるために、組織の壁をこえた活動(プロジェクト)、社内に保有する多種多様な人材の能力、経験(ダイバーシティ)の可視化、またいつでもどこでも情報や社員にアクセスできるデジタルモバイルワークプレイスなどを実現する。
4	Global Human Capital Management (グローバル人材マネジメント) ⇒3 Heuristic Work Environment に統合	クラウド型統合人材管理システムの活用を通じ、TCOを大幅に削減すると同時に、グローバル人材の効率的なマネジメントを実現する。
5	Real Digital Store Management (リアルデジタル・ストアマネジメント)	小売業において、各社が有する実店舗情報とEC情報を統合管理し、効率的な在庫管理や顧客管理を実現する。さらに顧客のもつモバイル端末を重要な顧客接点と捉え、新しいショッピング体験を提供する。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,205百万円となりました。主な内訳は現金及び預金505百万円、売掛金1,763百万円、有価証券(譲渡性預金)1,240百万円及び無形固定資産683百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は1,608百万円となりました。主な内訳は買掛金699百万円、賞与引当金256百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は3,596百万円となりました。内訳は資本金2,383百万円、資本剰余金633百万円及び利益剰余金578百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループでは、平成26年10月1日付でT-Modelインベストメント株式会社(同日付で株式会社SXAに商号変更)の全株式を取得し子会社化したことにより、平成27年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。これに伴い、本業績予想は連結ベースにて開示しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成26年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	505,003
売掛金	1,763,603
有価証券	1,240,000
仕掛品	15,942
その他	532,920
流動資産合計	4,057,470
固定資産	
有形固定資産	177,470
無形固定資産	683,004
投資その他の資産	287,164
固定資産合計	1,147,638
資産合計	5,205,109
負債の部	
流動負債	
買掛金	699,592
未払法人税等	1,963
賞与引当金	256,741
その他	623,404
流動負債合計	1,581,701
固定負債	
リース債務	27,001
固定負債合計	27,001
負債合計	1,608,703
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,383,851
資本剰余金	633,851
利益剰余金	578,703
株主資本合計	3,596,405
純資産合計	3,596,405
負債純資産合計	5,205,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,030,818
売上原価	4,587,156
売上総利益	1,443,662
販売費及び一般管理費	1,763,427
営業損失(△)	△319,764
営業外収益	
受取利息	235
持分法による投資利益	126
業務受託料	1,800
雑収入	5,136
営業外収益合計	7,298
営業外費用	
支払利息	308
その他	107
営業外費用合計	415
経常損失(△)	△312,881
特別損失	
固定資産除却損	237
特別損失合計	237
税金等調整前四半期純損失(△)	△313,118
法人税、住民税及び事業税	5,839
法人税等調整額	204,154
法人税等合計	209,993
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△523,112
四半期純損失(△)	△523,112

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△523,112
四半期包括利益	△523,112
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△523,112

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、コンサルティング業を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式の取得による持分法適用関連会社化)

当社は、平成27年1月29日付取締役会決議により、株式会社ビジネスブレイン太田昭和から、同社連結子会社であるグローバルセキュリティエキスパート株式会社の株式を取得することを決定し、平成27年2月3日付で当該株式の取得を完了し、グローバルセキュリティエキスパート株式会社は持分法適用関連会社となりました。

(1) 株式取得の目的

当社及びグローバルセキュリティエキスパート株式会社の能力と経験を組み合わせ、多様化・高度化するネット犯罪から企業を守る包括的なサービスを提供する体制を構築し、事業拡大を目指すため。

(2) 取得した株式に係る会社の名称、事業内容、規模

- ①名称 グローバルセキュリティエキスパート株式会社
- ②事業内容 情報セキュリティに関するコンサルティングおよびソリューションの提供
- ③規模 平成26年3月期 資本金 270百万円

(3) 株式取得の時期

平成27年2月3日

(4) 取得した株式の数及び取得後の持分比率

- ①取得した株式の数 2,646株
- ②取得後の持分比率 49.0%